

# 笠東学区 防災情報マップ

各家庭で一時集合場所を事前に確認しておきましょう！

## 凡例

一時集合場所（地震災害時のみ）		指定避難所	
地下式給水栓		地域防災協力事業所	
応急給水施設		広域避難場所	
公衆電話		下水道直結式トイレマンホール	



## 笠東学区の行動要領（地震編）

### 各家庭で避難先を確認しよう！

#### 災害リスクまとめ

- 南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6強の激しい揺れが予想されます。
- 学区西部に古い家屋が密集しているところや、狭い道があります。建物が倒壊して道を塞いだり、火災が延焼し、強く熱風が吹き荒れるおそれがあります。
- 地震発生後、津波の危険があります。学区では浸水想定はありませんが、テレビやラジオなどで情報収集に努め『大津波警報』発表時には注意しましょう！地震発生後、南区では約120分で津波浸水が開始します。
- 天白川沿いで液状化現象が起こる可能性が高い箇所があります。建物が傾いたり、路床に泥水が溢れ出し、通ることが出来なくなるおそれがあります。
- 学区西部の笠寺学区との境に土砂災害(特別)警戒区域（裏面参照）があります。災害発生後は近づかないようにしましょう。

適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

### 《大地震発生時 笠東学区行動ルール》

- ①震度5強以上の地震が発生した場合、笠東学区では住民の安否確認を行います。
- ②各家庭で自宅にいる家族が無事であれば玄関にタオルを掛けて「家族の無事」を知らせてください。自宅が安全であれば自宅にとどまり、自宅にいると危険であれば速やかに避難をしましょう。
- ③避難の際は、できる限り自宅の両隣の安否（タオル掲示の有無）を確認し、各町内の一時集合場所（裏面参照）に集まりましょう。
- ④安否確認の際、救助を必要とする人を見つけたら、周りに声を掛け、元気な人が助けましょう。
- ⑤ラジオなどで情報収集に努め、『大津波警報』が発表されたら、地震発生後60分を目安に高い建物や笠寺公園など高台へ避難しましょう。

### 笠東学区ではタオルを使った安否確認をします！

助けが必要な人をすばやく把握して救助するために、タオルで意思表示をお願いします。笠東学区ではタオルの掲示がない家庭を優先して安否確認を行います。大地震が起きたその時、自宅にいる人に救助の手が必要なれば、玄関口や門扉の確認しやすい位置にタオルの掲示をお願いします。



タオルは「私は大丈夫です」の合図です



## 大地震発生時 各家庭での行動手順

地震発生

2分

5分

10分

半日

### ①地震だ！まずは身の安全（家の中）

#### とにかく自分の身を守る、落下物から身を守りましょう！

- ・机の下に入る
- ・クッション、雑誌などで頭を守る
- ・家具から離れる
- ・ガラス面から離れる

しっかり机の脚を  
おさえる！



### ②大揺れが収まったら、火の始末

#### しっかり火の始末で火災阻止！

- ・台所やストーブなど火の始末をしましょう
- ・避難の際は、ブレーカー・ガスの元栓を切っておきましょう



揺れが収まってるから  
落ち置いて！

#### 火が出たらすぐに初期消火！

- ・「火事だ！」と大声で叫び、隣近所に協力を求める
- ・消火の備えや消火訓練を怠らずに！



揺れが収まったら  
出口の確保！

### ③我が家への安全確認！

- ・家族の安全確保、確認
- ・災害情報、避難情報の入手
- ・ガラス片や転倒家具に注意
- ・避難時には避難先のメモを残す
- ・自宅にいる家族が無事であれば、門扉などにタオルを掲示して避難



揺れが収まったら  
出口の確保！

#### あわてて外に飛び出さない！

- ・むやみに外に出るのは危険です
- ・周囲の状況を良く確かめて、落ち着いて行動しましょう



正しい情報  
の入手！

#### 戸を開けて出口の確保をする！

- ・マンションなどは地震の揺れでドアが歪み、閉じ込められることがあります

#### 正しい情報で行動する！

- ・災害時はデマなどに惑わされやすくなります
- ・報道機関や区市町村、消防署、警察からの情報に注意しましょう
- ・携帯ラジオを準備しておきましょう



### ④一時集合場所（裏面参照）に集まって助け合い！

- ・倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人を救出
- ・火災発生時の消火活動
- ・ケガ人の救護

あなたの町内の一時集合場所を書いておこう！



### ⑤避難後、数日間

#### 2～3日は自分でしのぐ！

- ・地震発生後の数日間は水道・電気・ガス・電話などライフラインを始め食料の供給が途絶えます
- ・2～3日は自分でしのげるよう、生活必需品（裏面『非常持出品の準備』参照）を備えよう



裏面には災害時に役立つ情報  
が載ってるよ！